

第1章 章末問題 解答

1. 携帯電話が、いつでも、どこでもつながりたい、という時間や場所の制約がないコミュニケーションを望む人間本来の要求を満たすものであったこと、国内の通信キャリアが黎明期に大胆な投資で基地局を設置し、どこでもつながるという実績を作ったことも大きな要因と考えられる。

通話にとどまらず、インターネットに接続した多様なサービス展開やユーザ端末の小型・軽量化、バッテリーの性能の改善による利便性の向上も理由と考えられる。移動通信システムとしての国際標準化が図られたことにより、同一のユーザ端末が各国で使用可能となった意義も大きい。なお、新興国では新たに有線電話網よりも携帯電話網を設ける方が容易で、経済的に整備できたことも要因の1つである。

2. 移動中での接続とは別に、場所を問わずネットワークに接続したいという潜在的な要求は高いと思われる。

オフィスのレイアウトや座席の変更に柔軟に対応できることや屋内のどこからでも柔軟にネットワークに接続できることは非常に利便性が高いと考えられる。自由にアクセスポイントが設置でき、購入時の初期投資のみで利用できること、無線 LAN 機能がノート PC やタブレット端末、スマートフォンに実装されたこと、ブロードバンド回線の普及も理由と考えられる。携帯電話と同様、無線 LAN の規格の標準化により多くのベンダー機器の互換性が確保されたことも大きな要因である。